

インターネット技術とその応用論文特集の発行にあたって

インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

委員長 吉田 和幸



インターネットは、様々なサービスや活動の基盤として、これまで力強く発展してきた。更には、昨今多発する大規模災害等において重要なライフラインの役割も果たすなど、なくてはならない社会基盤としての地位を確立している。その一方で、仮想化によるサーバの集約やデータの集中などにより、局所的な障害が予測不能な破綻につながりかねない状況になっている。これらを回避し、豊かな社会生活や新しい産業の創出に向けた社会システム基盤としての責務を果たすため、従来の枠組にとらわれない新たな安定性・発展性・経済性についての取組みも重要な課題になってきている。このような社会情勢を踏まえ、インターネットを持続的に発展させ、これらの社会的課題に応えることを目的として、インターネット技術とその応用に関連する最新のアイデアや取組み、成果を集め、広く共有して議論すべく本特集論文を企画した。御投稿頂いた10編の論文に対し、厳正な査読を行った結果、安全な新しいインターネット基盤を切り開くアーキテクチャの提案・実装等に関し、6編の論文が採録された。

本特集の論文は、アプリケーションからの要請を元にそれを支える安全なインターネットをどのように実

現するかをテーマに著者の方々が得た成果を論じており、アプリケーションとインターネット基盤を融合する上で重要な実用性の高い最新技術を知ることができる貴重なものである。インターネットを安全で創造的な社会基盤としていくには、アプリケーションとインターネット技術の相互連携が不可欠であり、本特集はその一つの形を提供している。本特集を契機として、アプリケーションと基盤技術の研究交流と研究コミュニティの活性化が進むものと期待している。

最後に、本特集の企画から発行にあたり、最新の成果を反映した原稿を御投稿頂いた執筆者の方々、御多忙の中で論文の査読に御協力頂きました査読委員の方々、企画・編集に御尽力頂きました編集委員会の方々、予定通りの発行に向け様々な御支援を頂きました事務局の方々に深く感謝する。

よしだ かずゆき
吉田 和幸 (正員) 昭和59年九州大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程修了。同年大分大学工学部講師、昭和61年同助教授、平成14年同総合情報処理センター助教授を経て、平成20年同学術情報拠点教授、工学博士。ネットワークの運用技術、セキュリティに関する研究に従事。情報処理学会、ソフトウェア科学会、ACM、IEEE各会員。

インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

委員長	吉田 和幸
幹事	近 堂 徹・中 村 豊
委員	新 善 文・井 上 博之・植 田 和 憲・落 合 秀 也
	佐 藤 聡・地 引 昌 弘・永 見 健 一・樋 地 正 浩
	松 崎 吉 伸